

Panda Cloud Antivirus Beta 2 (Ver. 0.08.81)

《製品のご利用方法と BETA2 の主な改良点》

インストール手順

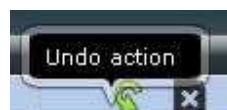
1. コントロールパネルの[プログラムの追加と削除] から Beta1 を削除し、コンピュータを再起動します。
2. Beta2 を <http://www.cloudantivirus.jp> (Panda Cloud Antivirus 日本語サイト)よりダウンロードします。
3. Beta2 をインストールします。

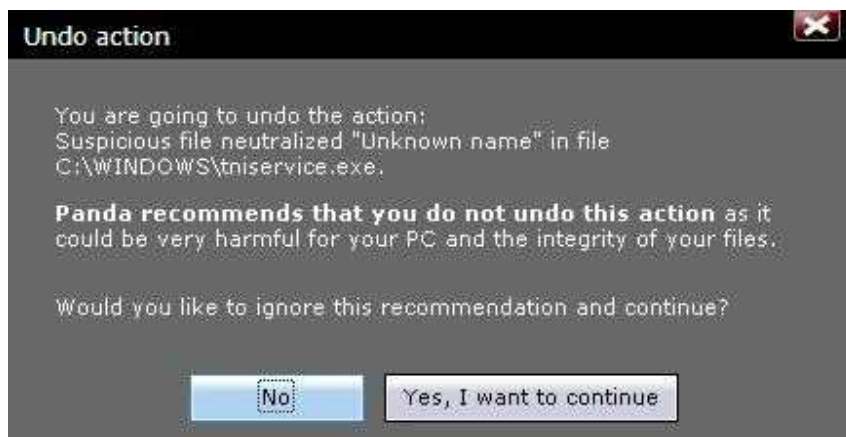
BETA2 の主な改良点

Beta2 において私どもはコミュニティ (<http://blog.cloudantivirus.com/>) からフィードバックをいただいた、最も重要な検出と駆除に関する項目の修正に特にフォーカスしました。以下は Beta 2 で新たに加えられた、または修正された項目のリストです。内容について疑問点等ございましたら質問・コメントをお願いします。

新機能 - Recycle Bin (ゴミ箱)に“Undo” オプションを追加

既知のマルウェアの自動削除の機能についての不満を一部のユーザーの方からいただいております。具体的にはユーザーがファイルの削除を希望しない場合や検出そのものが誤検出であった場合これらのファイルを復旧させるオプションがありませんでした。今回 Beta 2 から Recycle Bin に、3日間(変更可能)に限ってユーザーがファイルを復旧させることが出来るオプションを追加しました。この期間中、ファイルアイコンは、ファイルが隔離されていることを示すものに変更されます。(注意: これは”deleted”(削除された)ファイルにのみ適用され、”disinfected”(マルウェアが駆除された)ファイルには適用されません)



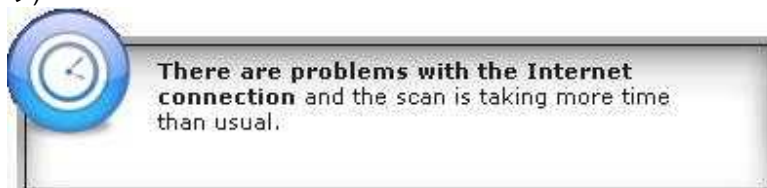


新機能 – 同期型リアルタイムクラウドスキャン

特定の環境において、実行されようとしているファイル（直接インターネットからダウンロードされた、または Read-only のネットワークシェアからのもの）が、それがメモリにロードされた後で非同期でクラウドに対してチェックされるケースがありました。この場合は結果として検出と駆除のアクションが感染した後でしか行われないう問題がありました。今回の Beta 2 ではこの部分の振る舞いを変更し、コレクティブインテリジェンス（クラウド）からのレスポンスを受け取るまでファイルの実行をブロックするようにしました。もしそれがマルウェアであった場合は、ファイルは実行が許可される前に削除されますこととなります。

新機能 – クラウドスキャナに遅延及びレスポンスのコントロールを追加

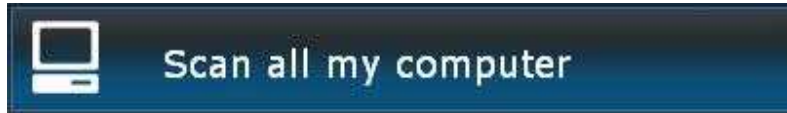
私どもはこれらを測定する目的でアメリカ、ヨーロッパ、アジアの 10 ヶ所にセンサーを配置しており、その結果 98.41% のケースでコレクティブインテリジェンスのクエリに対して 3 秒以内にレスポンスがなされていることを把握しています。しかしながら残りのケースを制御するメカニズムがなかったため、もし接続環境の問題、遅延、プロキシの問題等によりレスポンスがタイムリーに行われなかった場合、コレクティブインテリジェンスからのレスポンスを入手する前に、プログラムの実行が許可されることがありました。今回新しいレスポンスコントロールのメカニズムを追加し、6 秒を超えてコレクティブインテリジェンスからレスポンスがないプログラムに関して、更に第 2 のタイムアウト期限の 30 秒間について”on hold”(実行保留)とし、その後ブロックが解除され実行が許可されるという形としました。（もちろんこの場合でも非同期のスキャンは継続して行われます）。



修正 – スキャンが遅い

Panda Cloud Antivirus は、システム全体がクリーンであることを確認するために、インストールされた直後に自動的に PC 全体のバックグラウンドスキャンを自動的に開始します。一部のユーザーの方からは、インストール直後に PC 全体のオンデマンドスキャンを行うと PC が大幅にスローダ

ウンしたり、スキャンに非常に長い時間がかかるとの御報告をいただいております。この問題はバックグラウンドスキャンとオンデマンドスキャンの両方が同時に実行されることによって発生するものでした。Beta2 においては、オンデマンドスキャンが実行された場合にバックグラウンドスキャンを自動的に一時停止させることでこの問題を修正しました。この場合、オンデマンドスキャンが終了した後にバックグラウンドスキャンが一時停止した場所から継続してのスキャンを再開します。



修正 - Recycle Bin (ゴミ箱) のブロック解除機能の問題

特定の環境下で、ある種のマルウェアについて、疑わしいまたは望ましくない可能性のあるとして Recycle Bin に隔離されたマルウェアに対してブロック解除を行っても、繰り返し何回も検出・隔離されてしまうという問題報告を受けていました。Beta2 ではこの問題を修正しました。

その他の修正点

- Windows セキュリティセンターへの組み込みを修正
- PC フルスキャン時にクラッシュする問題を修正
- Vista において再起動を必要としていた駆除のバグの修正
- 駆除時に再起動を繰り返し要求されるバグの修正
- 実行中のスキャンをキャンセルした際に PSANHost.exe サービスが不安定になることがある問題の修正
- フルPC スキャン時の“Code 1 Error” の修正
- シェアードネットワークでグレイウェア(PUP)が発見された際に Recycle Bin に送られていなかった問題の修正
- ユーザーが書き込み権限を持たないフォルダからグレイウェアが削除されることがあった問題の修正
- 各種のシステムクラッシュ問題の修正
- その他検出、アンインストール、スキャンに関する修正